



しんろだより

第6号 令和6年10月31日
米子養護学校 進路指導部

一人一人の能力を最大限に伸ばし、自立と社会参加に向けて、より豊かに生きる児童生徒を育成する

令和6年度鳥取県西部地区特別支援学校就労促進セミナー

『就労フェスタ』を開催しました

10月4日(金)に本校を会場に就労促進セミナーを開催しました。就労促進セミナーは、障がいに関係なく、希望や能力に応じて、誰もが職業を通じた社会参加のできる「共生社会」実現の理念のもと、一人でも多くの生徒が就労できるよう、皆生養護学校、鳥取聾学校ひまわり分校と3校合同で行っているものです。当日は企業、関係機関、保護者等、100名近い来場者があり、とてもにぎやかなイベントとなりました。

各校企画ブース

今年度から「就労フェスタ」とサブタイトルを変更し、昨年までのセミナー形式ではなく、児童・生徒が企画・運営するブースを楽しみながら、「共にはたらく一員」として児童・生徒に対する理解を深める機会となるよう企画しました。

ひまわり分校は「手話講座」、皆生養護学校は「eスポーツ体験」、米子養護学校は「作業学習ワークショップ」など、趣向を凝らした体験を用意し、「組み木細工」や「さをり織り」、「ねぎの出荷準備」など、日頃生徒が作業学習で取り組んでいる内容を来場者の方に体験いただきました。



参加企業の方から

初めてこのようなイベントに参加し、生徒たちの取り組みを直接感じる事ができて良かったです。
皆さんがとっても頑張っているのが伝わりました。

企業交流ブース

障がい者雇用を行っている企業、これから雇用を考えている企業等が「雇用・定着に向けて大事にしていること」、「職場内で理解者をどのように拡げているか」など、各企業での取り組みの情報交換をしていただきました。



企業講演「みんなで取り組む【障がい者雇用】とは？」

菅公アパレル株式会社伯耆工場の桑垣工場長をお招きし、雇用までの取り組みや、卒業生の就労事例、一緒に働く方のコメントなど具体的なお話をいただきました。

1回目の実習では、職場の雰囲気に慣れること、モノづくりの楽しさを感じられるようにすることを大切にしています。2回目の実習では、就職後をイメージして、本人の適性を見極めたり、迎えるための体制づくりをしたりしています。

就職後は、社会人としての行動や指導を中心となって取り組む「サポーター」を決めて指導・支援にブレがでないようにしています。



「働きやすい環境を整える」簡単に聞こえるかもしれませんが、とても重要だと思っています。話し方や接し方、寄り添い方を意識し、成長を支援する雰囲気を今後も作っていきたいです。

「みんなちがって、みんないい」この言葉は私の心にいつも持っている言葉です。社員みんなが、自分という個性を理解し、他者の個性も受容していく。これからもみんなで「働きやすい会社」を目指していきたいと思っています。

このようなイベントを通して障がい者雇用への理解がすすみ、子どもたちが働きやすい環境、職業選択できる機会が広がっていくといいなと思っています。

----- 切り取り線 -----

進路に関して知りたい情報がありましたら御記入ください

学部 小 ・ 中 ・ 高 名前

担任 → 各学部進路指導部